

この人に会いたくて

茨木市立図書館おはなし会ボランティア
やすなが しずこ
安永 静子さん



子どもたちがお話の世界に集中できるように、カーテンを閉め部屋を暗くし、ロウソクのような電池ランプを灯し、お話の世界が始まる。そこに登場するのが安永静子さん。静かな語り口調で民話の世界が広がっていきます。思わず引き込まれていく子どもたち。35年間、公共図書館や学校などでこのようなおはなし会をされてきた安永さんに、茨木市立天王公民館の児童室でお話を聞きました。

●おはなし会ボランティアを始めたきっかけ

子どもが小学生のとき、毎日「親子20分読書」という取り組みがあって、子どもと毎日一緒に本を読むようになり、児童向けの本も大好きになりました。そして、その頃PTAの図書委員になり、その中の一人が中央図書館の「おはなし会ボランティア養成講習会」に誘ってくれました。今から35年前のことです。現在、おはなし会ボランティアは、中央図書館、分館4カ所、分室8カ所所で68人が定期的におはなし会を開催し、その他に幼稚園や保育所、保健所、小・中学校などでも依頼があれば出かけて活動しています。ボランティアの皆さんはとても熱心で、長く活動されています。私もできるだけ欠席しないように、何よりも優先してやってきました。

●どのようなお話が好きですか

民話が一番好きです。素朴だけれどその土地の言い伝えや宗教的な行事などを知ることができて大変勉強になります。大阪にも、泉佐野には「蟻通し明神」、岸和田には「蛸地蔵の話」、寝屋川には「鉢かつぎ姫」、茨木にも「茨木童子」や総持寺の由来を伝える「亀の恩返し」など面白い話がいっぱいあります。だいたい20話くらいはいつでもできます。

長いお話で20分くらい、短いので5分くらいです。お話の内容は



おはなし会の様子



子ども達からのお手紙

できるだけ季節や行事に合わせて選ぶようになっています。小さい子どもは、動物の出る話や言葉の繰り返しが好きです。あまり抑揚をつけず、ジェスチャーもひかえめに、たんととできるだけ間違えないように話しています。絵本の読み聞かせをする方もいらっしゃいますが、私は話を全部覚えて語る方がやりやすいです。

●昔と今の子どもたちの反応に違いはありますか

あまり変わったように思いません。子どもたちはきっかけさえあればお話を聞くのが好きです。中学校にもお話に行く機会があるのですが、熱心に聞いてくれます。お年寄りからお話を聞かせてもらうことってあまりないですから新鮮なのかもしれません。ほかのボランティアのみなさんも初めは難しいと思っていたのですが、行ったら行儀もいいし、かわいいと喜んでいきます。でも、最近の小学校高学年の児童は忙しいのか分室のおはなし会に来てくれる子が減っています。一方、小さい子どもを連れてお母さんが増えています。小さい子は、はじめはウロウロしていますが、それでもお話を聞いているのです。お母さんは気を使われるのですが、3回目くらいからちゃんと一人で座って聞くようになってきます。

●今後の抱負はありますか

民話にでてくる場所に出かけて行くと、歴史的な背景などがわかることがあって、興味の幅が出てきます。また、他の方が話をされているのを聞くと、面白くないと思っていた話なのに感心することがあります。まだまだ新しい気づきがあって勉強になります。若い方が「安永さんを目標にやっていますよ」と言ってくれるのも嬉しいです。今84歳ですが、時間の許す限りおはなし会を続けていきたいです。

エッセイ 第52回
「早朝ウォーキング」
樋上 雅俊

夏場の朝6時すぎ、約一時間の早朝ウォーキングのスタートです。男性は単独で、女性は連れ立って、ツバの広い帽子にアームカバーをつけて日焼け防止をされています。犬の散歩やランニングをする人、中にはイヤホンで音楽を聴きながら快調に進んでいる人もみられます。

ウォーキングの道は片側に木々が植えられ、道に沿って小川が流れフナやコイが活発に泳ぎ回り、白鷺やおしどりが見えつきにやってきました。地元の人たちが手入れされている花壇にはきれいな花が常に咲いています。春には蝶が舞い、夏には蝉の鳴き声、秋になれば蜻蛉が飛び交い、木々の色、花壇の花、日の出の位置も少しずつ変わり、季節の変化を感じます。自分で決めた折り返し地点を戻るところには、職場や駅に向かう自転車が、バスや列車の並ぶ人も多くなっています。住宅地に入ると朝の生活の音が聞こえてきます。自宅に戻ると額にうっすらと心地よい汗。それをぬぐいながら「さあ、今日も明るく楽しい一日が始まるぞ。」と自分に気合を入れます。

グループ紹介

茨木ひまわりラジオ体操会

「健康維持、増進」「正しいラジオ体操」「親睦」を目的にして、毎朝6時30分から10分間、中央公園北グラウンドに集まって一年中ラジオ体操をしています。雨天の場合はNHKの「テレビ体操」を見ながら各自で体操します。

40年前茨木小学校の児童と保護者に呼びかけ、当時北グラウンドにあった「ちびっこ交通公園」で始めました。だんだんと地域の人たちも参加してくださり、春日や大池方面、遠くは南茨木の方もいらっしゃいます。夏休みには子ども会の親子連れも一緒にしています。



このたび、かんぼ生命、ラジオ体操連盟、NHKに認められ、平成27年度全国優良団体賞を受けました。会費は無料、年2回の親睦会は自由参加ですが、お花見会と11月の食事会をしています。お一人でも親子でも、散歩の途中、マラソンの準備運動としてなど、老若男女どなたでもいつからでも思い立ったらその日から参加してください。お気軽に見学へもお越し下さい。

問合せ先 金居 敏子 072-627-2134

「きらめきピアノ演奏会」

いろいろな年代の市民の方が発表されます。

- ★ 演奏会 平成28年4月2日、7月2日、10月1日、平成29年1月7日の各土曜日
- ★ 演奏者募集 演奏時間は一人15分以内、演奏月は後日決定
登録料 1人1000円
申込 12月25日までに往復はがきで



- 消防署本部で指令室の緊迫感を体験したり、ポンプ車の運転座席で感激したりと思わぬ体験ができましたが、同時に改めて防災に留意したいと思いました。(田中 浩子)
- 富士さんってどんな人だったのか。常識では測れず、奥が深く、味わいのある人。できるなら直接お目にかかってお話をお聞きしたかった。そんな魅力ある人でした。(山羽 昭完)
- 茨木ある記で、川端通を散策しました。木漏れ日の中そよ風に吹かれて散策していると、特に茨木市は非常に石に力を注がれていることに興味を持ちました。(樋上 雅俊)
- 立命館大学大阪いばらきキャンパス。中条小学校遺跡が眠る岩倉町に開設。学生、教職員約5800人の学舎。すばらしい“学生の街”は市民の誇りです。(小山 邦夫)
- “現代っ子はお年寄りの話なんか聞かない”というようなことはすぐ納得していましたが、実際はそうでもないこともたくさんあるのかも気づいた次第です。(八木 寿則)
- 川端通りを歩いて「安威川・茨木川合流の碑」に着き、合流地点を目前に見ると、迫力がありません。昭和初期の先人の偉業に改めて感謝の念を深くしました。(梅澤 智恵子)

投稿募集・・・皆さんの投稿、情報をお待ちしています。

サークル、グループ活動紹介・こんな人を紹介したい！
私の時間（エッセイ、短歌、俳句など）・茨木の写真

〒567-0028 茨木市畑田町1番43号
茨木市立生涯学習センター内 生涯学習情報誌「まなびどり」事務局
TEL 072-624-8182 FAX 072-622-1268
E-mail kirameki@city.ibaraki.lg.jp

「まなびどり」はホームページでもご覧いただけます。
<http://www.kira.city.ibaraki.osaka.jp/>
(投稿いただきましても、掲載できないこともあります。ご了承ください。)

掲載している記事やイラストを使用される場合はご一報ください。